

研究課題番号	S-17-1
研究課題名	災害・事故に対する化学物質リスク管理基盤の構築
研究実施期間	2018年度～2022年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	鈴木 規之

1. 委員の指摘及び提言概要

緊急時の化学物質によるリスク評価において、シナリオの作成は実際の発災時に迅速に行動しデータ収集する上で必須の作業である。事件事例の解析・一般化に基づいて、5つの仮想的な排出シナリオが共通シナリオとして設定され、机上演習に用いられた。しかし、対策オプション事例では他のシナリオが用いられ、一貫性に問題が残された。急性、亜急性、慢性など発災時からの時系列に対応して、対策を検討している点は、具体的で行政上役立つ内容を多々含んでいる。また、再暴露、減衰暴露から暴露歴試験には、時期特異性、物質特異性がある可能性を示した。これは健康影響評価手法の新たな展開を示唆する優れた結果である。本テーマが中心となり作成した統合リスク管理基盤 D.Chem-Core が公開されており、災害事故時の化学物質対策に広く活用されることが期待され、高く評価できる。

2. 採点結果

評価ランク：A